

<発行> 一般社団法人 日本難病・疾病団体協議会（JPA）事務局  
発行責任者／齊藤幸枝  
〒170-0002 東京都豊島区巣鴨 1-11-2 巣鴨陽光ハイツ604号  
TEL03-6902-2083 FAX03-6902-2084 [jpa@ia2.itkeeper.ne.jp](mailto:jpa@ia2.itkeeper.ne.jp)  
JPAホームページ <http://www.nanbyo.jp/>

## 難病患者に初の鉄道運賃割引が実現

茨城・ひたちなか海浜鉄道： 海辺の小さなローカル線が大きな一歩



指定難病患者の通院や外出を支援しようと、茨城県の「ひたちなか海浜鉄道」が、難病患者を対象に7月8日から運賃の割引を始めました。障害者手帳が交付された人を対象とした運賃割引はこれまでもありましたが、難病患者も対象とした鉄道運賃の割引制度は、全国で初めてです。

障害者手帳があれば運賃割引があるのに、難病には制度がない。この壁を突破しようと、昨年の夏以来、茨城県難病団体連絡協議会の佐々木事務局長らがひたちなか海浜鉄道の吉田社長にたいし、運賃割引を要望し、今回の実現したものです。

難病患者が乗車する際に医療費助成の受給者証を提示すれば、運賃が小児と同じ（半額）になり、軽症者の「不認定通知書」でも同様に割引が受けられます。

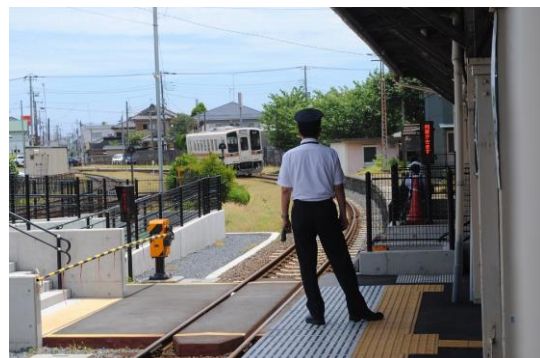
8日、那珂湊駅で記念の出発式が開かれ、理事のはむろさんが取材方々式典に参加してきました。茨城県難病団体連絡協議会の吉川祐一副会長は「障害者と比べて対策が遅れているといわれる難病患者への制度ができて、とてもうれしい。茨城県が全国の先駆けになってほしい」と話していました。

式典後、茨城県難病団体連絡協議会のみなさんがさっそく割引を受け乗車。海辺のローカル線による、大きな一歩を喜び合いました。

障害者手帳がなくても、ひたちなか鉄道のような取り組みが全国に広がるよう、期待されます。



那珂湊駅で行われた出発式



那珂湊駅ホームから（撮影：はむろ）